

# 記入例

(表面)

## 児童手当 額改定認定請求書 額改定届

提出年月日を記入してください。

本部町長 殿

提出年月日	※受付確認年月日
令和 ○・○・○	令和 ・ ・

受給者	性別	年齢	職業	勤務先	〒 905-0292 本部町字東5番地 電話 090 ( 1234 ) 5678
ア 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者	平成	加入している は括弧内に○を 入してください	ア 厚生年金保険 イ. 国民年金 ウ. その他	ア 加入している は括弧内に○を 入してください	ア 加入している は括弧内に○を 入してください

・加入保険が協会けんぽ・組合・共済等ならア  
・国保・被扶養者・任意継続・保険未加入ならウ  
・イ.公務員の場合は勤務先での申請になります。

養育している18歳年度末前の児童  
について記入してください。

・監護とは、児童の生活に  
ついて社会通念上必要とさ  
れる監督・保護を行ってい  
る(児童の面倒をみて育て  
ている)ことをいいます。

### 増額又は減額の原因となる児童

氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の 出国年月	住所	監護の有無	生計関係	※児童との関係 で、該当する 場合に○印
本部 さくら						有・無	同一・維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母

・請求者と同一住所であれば同一○  
・別居の場合は別に○  
【児童と別居の場合】  
・町内別居⇒別居監護申立書の記入が必要になります。  
・町外別居⇒①別居監護申立書の記入 および  
②別居する児童の個人番号の記入または  
児童の属する世帯全員の住民票の提出が必要です。

・対象児童の続柄が子  
であれば“同一”  
・請求者の子でない場合  
(例:子の子)であれば  
“維持”⇒養育申立書の  
記入が必要になります。

### 増額又は減額の原因となる児童の兄 (18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した者)

氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の 出国年月	住所	監護相当の有無	生計費負担の有無
						有・無	有・無

養育している18歳に到達後最初の3月末を経過した後  
22歳に到達後最初の3月末までの間にある児童について  
記入してください。

増額した理由  
ア. 出生  
イ. その他 ( 制度改正により )

減額した理由  
事由の発生した年月日は、児童手当に該当することとなった日(減額の場合は、児童手当に該当しなくなった日)を記入してください。  
制度改正による増額の場合⇒令和6年10月1日(法改正施行日)としてください。

事由の発生した年月日  
令和 ○・○・○

備考	※認定・改定・却下年月日	※認定・改定年月	※手当月額
	令和 ・ ・	令和 ・ ・	3歳未満分 円 3歳以上分 円 計 円

受付印

- ◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。
- ◎ ※印の欄は、記入しないでください。
- ◎ 字は、楷書(かいしょ)ではっきり書いてください

書類確認	審査	申請入力	認定確認